

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 福祉楽団	グループホーム杜の家くりもと	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 入浴支援	① wells リフトキャリー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月10日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>▼ 使用する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴介助業務 <p>▼ 使用頻度等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日数：毎日 ・時間：13時～15時 		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、</p> <p>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護職員の入浴介助時に伴う浴槽への出入りに係る腰への負担がかなり軽減された。 ○ 本機器によって「浴槽への出入り動作」「脱衣室から浴室の入退浴の一連の動作」が補助され、利用者の入浴姿勢が安定し、快適性、安全性が向上した。 ○ 【導入前】入浴人数（1日当たり）：3名 総時間数：90分（1人/30分） 【導入後】入浴人数（1日当たり）：3名 総時間数：75分（1人/25分） →入浴時間：5分（1人当たり）短縮 総時間数：15分短縮 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リフトキャリー専用のシャワーチェアは、通常のシャワーチェアよりサイズが大きいため、脱衣室及び浴室（洗い場）のスペースが狭くなってしまう。そのため、職員の動線をやや圧迫している。今の所、大きな支障にはなっていない。 		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人福德会	ショートステイサービスセンター吉祥苑	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り ②見守り機器の導入に伴う通信環境整備	①A.I.Viewlife 生体センサー連動版セット ②YAMAHA SWX2210P-18G (PoEHUB) システム管理 Server (LinuxOS)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
①・②令和4年3月25日	①1台 ②一式	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>毎日の業務の中でセンサーコールが鳴る度に画面で利用者の状況を確認している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>利用者に応じた行動範囲によってコールの設定をすることができ、コールの回数が減り、訪室による業務負担が軽減した。コールが鳴った際、プライバシーを害することなく居室内での状況が画面上で把握できることにより、巡回の為の訪室回数が減り、夜勤従事者の負担が軽減されると共に、利用者の安眠が確保できるようになった。録画機能を活用し、居室内での状況をご家族や介護支援専門員へ報告することにより、利用者に応じた介護サービスの提供ができた。</p> <p>また、巡回による訪室時間が1ヶ月あたり職員1人につき217分から186分に減少した。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>窓から紫外線が入ってくるとセンサーに反応し、誤作動がある。紫外線が入らないよう窓にフィルムを貼る等の措置が必要になる。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人福德会	特別養護老人ホーム吉祥苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①移乗介護 ②見守り ③見守り機器の導入に伴う通信環境整備	①パワーアシストスーツ (J-PAS fleairy) ②A.I.Viewlife 生体センサー連動版セット ③YAMAHA SWX2210P-18G (PoEHUB) YAMAHA RTX1220 (RT) システム管理 Server (LinuxOS)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
①令和4年2月9日 ②・③令和4年3月25日	①3台 ②4台 ③一式	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ①利用者の車いすへの移乗時やトイレ介助時、オムツ交換時、入浴時に使用 ②センサーコールが鳴る度に画面にて利用者の状況を確認している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ①移乗の際の背・腰の負担が少なくなり、腰痛がある職員も痛みが出ることなく行えている。また、排泄介助時等に中腰になる際の負担も少なくなっている。 ②利用者に応じた行動範囲によってコールの設定をすることができ、コールの回数が減り、訪室による業務負担が軽減した。コールが鳴った際、プライバシーを害することなく居室内での状況が画面上で把握できることにより、巡回の為の訪室回数が減り夜勤従事者の負担が軽減されると共に、利用者の安眠が確保できるようになった。また、巡回による訪室時間が1ヶ月あたり職員1人につき1,860分から1,736分に減少した。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ①素材がメッシュ生地になっているが排泄介助や入浴介助時は蒸れてしまう。バッテリーの残量が確認出来ない為、目で見て分かるようになるとなお良い。 ②窓から紫外線が入ってくるとセンサーに反応し、誤作動がある。紫外線が入らないよう窓にフィルムを貼る等の措置が必要になる。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 馬橋福祉会	ショートステイサービス なでしこ	老人短期入所施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り	①見守りケシステム内蔵低床3モーターベッド FB-033・L-3・30V・M2 Wi-Fi	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月17日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>見守りベッド2台は、ショートステイの居室に設置して、主に落ち着きの無い方や、徘徊の多い方に、毎日使用しております。／</p> <p>納入時に説明会を実施しましたので、職員もすぐに使いこなしております。／</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、</p> <p>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <p>見守りセンサーベッドが、ご利用者の動きを感知して、起き上がりや、動き出しに瞬時に反応して、ナースコールで知らせてくれますので、ご利用者の徘徊や、徘徊による転倒リスクが軽減しました。また、落ち着きの無い方の居室を定期的に見回りしてありましたが、回数を減らすことが出来ました。職員の労働負担を軽減出来ました。ショートステイは、初めてお預かりする機会も多いので、今後はそういった方にも使っていきたいです。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>使い始めてまだ浅いですが、思った以上に効果的でしたので、現場からもっと台数を増やしたいとの要望が御座いますが、費用面で不安です。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月15日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人みのりの村	特別養護老人ホーム海	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	パラマウントベッド(柵)見守り支援ベッドシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月9日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 多動な利用者や新規利用者の臥床時の見守りに使用。 夜間就寝時（18:30～6:30）及び午睡時（12:30～14:00）に使用。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 「起きあがり」「端座位」「離床」の3種類のセンサー設定できるので、不慣れな職員でも設置が容易にできる。 職員が定期巡回しているものの臥床時間帯を通して見守りする事は不可能である。利用者の体動があった時にセンサーが通知してくれるので事故防止に役立つとともに職員の負担が大幅に減った。 同様のセンサー内蔵ベットを4台使用しており今回の増台に至った。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 特になし		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月12日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人泰斗会	特別養護老人ホーム ひだまりの里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	超音波・赤外線コール HUI-R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 5日	18台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>①退院直後の様子観察、②徘徊者の所在確認、③夜間徘徊で他者とのトラブル防止、④夜間ナースコールを押下せずに車椅子やポータブルトイレに移乗してしまう利用者への対応等、利用者見守りのために夜間を中心に毎日使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、</p> <p>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <p>従来、夜間業務中は当然定時に巡視をしているが、それでも気が付けば認知症利用者が居室から這い出してきたり、コールを押下せずに車椅子やポータブルトイレへ移乗していて危険を伴っていたが、センサーが作動することにより事故を未然に防ぐことができる、と職員から満足しているという声を聞いた。</p> <p>時間短縮については、例えば「気付いてから対応して再入眠させる」→「センサーが作動してすぐに駆け付け、再入眠を促す」の場合概ね15分程度の時間短縮に繋がっている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 3月 25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 柚子の会	特別養護老人ホームリブ丸山	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	エスパイアシリーズ KA-N1411K 中継ユニット NU-3200 含む	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 2日	5台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 見守りの職員が少ない夜間帯に使用（18：30～6：00） ベッドから立ち上がり転倒リスクのある方に使用。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等 センサーマットだとベッドから立ち上がった際に転倒のリスクが高かったが、見守り 支援ベッドシステムの導入により、ベッドから起き上がった時点で把握出来るよう になり、転倒リスクが軽減しました。また、早期に利用者様の状態を知る事が出来、余 裕を持って対応する事が出来るようになり、職員の負担も軽減してきました。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 現在、特に不都合なし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月17日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人林声会	特別養護老人ホームゆかり八街西林	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り	①ベッドセンサーシステムベーシック (ナースコール分配コンセント)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年2月15日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ナースコールの認識がなく、座位不安定、立位困難で多動の方に使用している。ベッド上にいる際は、常に使用している。 ・定期評価（1ヶ月）を行い、行動パターンの把握や事故予防・防止に役立っている。 		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドキャスター部分に設置のため、見守り機器として障害物とならず、環境設定の確保が容易である。また、センサーマットでは防ぎきれない事案を、未然に防ぐことができる。 ・入居者の状態、状況に合わせて、感度（体重設定）調整が設定でき、日中・夜間帯の行動をいち早く察知して対応にあたるため、事故防止及び職員の精神的負担が軽減された。 ・体重測定（月1回）時に、ベッドで寝ている状態で測定ができるため、離床介助等の身体的負担が軽減された。 ・導入前に要していた時間：12時間 → 導入後に要している時間：9時間 		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケアホーム市川大和田	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	いうら電動シャワーキャリーLS-310 レールセット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年2月25日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>週2回 車いす利用の方の入浴介助時4名に使用。 移乗介助時 2名介助の入浴が1名で安全に入浴介助実施</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>4名の入居者で入浴介助（週2回）人員2名介助時間 10分→1名介助に変更 週合計80分 月320分の効果</p> <p>介助者1名でも安全な入浴介助が可能となる また、スタッフにヒアリング時、腰痛予防の効果の声も聞かれる</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>ユニットバスでの利用時キャリーの大きさにより取り回しに注意が必要 コンパクトなタイプがあれば尚可</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケア公津の杜	小規模多機能型居宅介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	いうら電動シャワーキャリーLS-550 レールセット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月26日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>1日 車いす利用の方の入浴介助時3名に使用。 移乗介助時 2名介助の入浴が1名で安全に入浴介助実施</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>1日3名の利用者の入浴介助時 人員2名介助時間 10分→1名介助に変更 月840分の効果</p> <p>介助者1名でも安全な入浴介助が可能となる また、スタッフにヒアリング時、腰痛予防の効果の声も聞かれる</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>ユニットバスでの利用時キャリーの大きさにより取り回しに注意が必要 コンパクトなタイプがあれば尚可</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
セントケア千葉株式会社	セントケア大神宮下	通所介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	いうら電動シャワーキャリーLS-550	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年2月19日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>1日 車いす利用の方の入浴介助時3名に使用。 移乗介助時 2名介助の入浴が1名で安全に入浴介助実施</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>1日3名の利用者の入浴介助時 人員2名介助時間 10分→1名介助に変更 月720分の効果</p> <p>介助者1名でも安全な入浴介助が可能となる また、スタッフにヒアリング時、腰痛予防の効果の声も聞かれる</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>ユニットバスでの利用時キャリーの大きさにより取り回しに注意が必要 コンパクトなタイプがあれば尚可</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月8日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
特定非営利活動法人あい愛	サルビアホーム	小規模多機能型 居宅介護事業所
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	aams.介護本体	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月15日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>夜間帯定時見回り以外の、ご利用者様の状態把握や事故防止、介護負担の軽減を目的として活用。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u></p> <p>眠りの状況が分かり、ベッド上での動きなども把握できている。危険を伴う動きを感知し警告音になる為、機敏に対応できている。職員の負担の軽減につながっている。夜間帯の定時見回りでは不十分であった、見守りが補完された。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>サーバー接続により無線で繋がっているが、通信エラーが頻回に起こることがある。パソコンの操作が必要なため、職員によっては操作に不慣れなこともあり敬遠してしまうものもいる。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 8日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
有限会社ケアサービス花見川	ほのぼのディサービス	地域密着型通所介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	圧力センサービーコン	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 年 月 日	0台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ※介護時間の短縮については、 <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u>		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 3月 15日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
有限会社プロスパーコーポレーション	さくら・デイサービス	通所介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 入浴支援	① ウェルスリフトキャリー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 7日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>通所介護利用者の立位や歩行が困難または浴槽への移動が困難な利用者の入浴時に脱衣室から座位のまま浴室へ移動が可能となり、浴槽への移動を職員2名で行っていたケアが職員が浴槽に入ることなく1名で対応出来るようになった事と何より安全な移動と利用者の満足度が得られた。今まで躊躇していた利用者もリフトキャリーの使用によって浴槽への入浴頻度が多くなり、ほぼ毎日半数以上の方が利用しています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、</p> <p>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度の向上と浴槽へ入ることにより新陳代謝がよくなった。また利用者から浴槽へ入りたいという要望が増えた。 ・今まで入浴時の浴槽への介助は2名で行っていたが、リフトの使用により1名での介助で行えるようになった。また、介護者の腰への負担も軽減されている。 ・入浴時の1名に要する時間が以前は40分位要していたが現在は30分以内で行えるようになった 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使い方は簡単で力を必要としないため、女性等でも操作出来るが、安全のための固定する部分が多くあるため慣れるまでは面倒な部分がある。また操作手順を間違えないように再確認が必要。 		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 清和園	特別養護老人ホーム セイワ松戸	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	見守り支援システム『眠り SCAN』NN-1320	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 14日	6台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日中、夜間問わず、入眠状況や体調管理・確認が出来ている。 ●看取り期になっているご利用者の体調の変化に気づけている。 		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●夜間帯での見守り（看取り期のご利用者）の様子観察 <ul style="list-style-type: none"> ・未設置時は、30分～1時間間隔で訪室をすることもあったが、設置すると、異変時にアラームで知らせてくれるため、職員の精神的、身体的負担軽減に繋がっている。また、ご利用者側もこまめな訪室で職員の気配を多く感じるより、安心して休めるようになった。 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Wi-Fiの問題か、アラームが鳴らないことがある。 		